

令和7年度 能見台地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性

能見台地域ケアプラザの担当圏域は、能見台、金沢東部、金沢中部、富岡西・能見台の4地区にまたがっており、それぞれ地域住民主体の取組や特徴的な地域活動が行われている。

ケアプラザは、各地区の特性やニーズに応じて情報提供や活動支援を行うほか、地域の人材や資源を相互につなぐ役割を担っている。今後も、地域の状況をよく観察し、住民主体の活動の立ち上げや、活動継続に向けた支援に取り組んでいく。また、隣接する地域ケアプラザと情報共有し、連携して地域支援に取り組んでいく。

☐ 今年度の重点的な取組

新規
継続

—具体的な取組内容—

- | | | |
|--------------------------|---|--|
| ☐ | ■ | 個別ケースの課題から出た地域課題である買い物支援について、地域ケア会議（協議体）などを通じて専門職や関係機関、地域住民への周知を図り、課題解決につなげていく。 |
| ☐ | ■ | 地域が主体となった介護予防・社会参加の場が増えるようにリーダーとなる元気づくりマイスターの養成と、活動の後方支援を行っていく。（かなざわ葬斎館での健康セミナー1回/月・友引の日の開催、男性限定体操教室の拡充） |
| ☐ | ■ | 誰もが住み慣れた地域で安心して過ごせるよう、エンディングノート、もしも手帳の他、救急あんしんカード等の普及・啓発に努める。 |
| ☐ | ■ | 地域の集いの場や話し合いの場に積極的に参加し地域の社会資源情報を収集すると共に、活動における課題を把握し、活動の発展・継続に向けて働きかけ、地域支援・個別支援につなげていく。 |
| ☐ | ■ | 地域の方の声に常に耳を傾け5職種間での連携をとり、あらゆる方が参加できる事業を企画実施する。 |

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

☐ 区からのコメント